

お客様各位

2016年12月26日

白山工業株式会社

うるう秒調整時の挙動 計測機器

高精度構造探査ロガー LS-8200SD

[GPS モジュール]

使用されている GPS モジュールは、古野電気製 GT-80B5F です。
うるう秒調整時、曜日に関わらず下記[挙動詳細]の動作をします。

[挙動詳細]

ハングアップせずに動作は継続されます。

- ・記録データはうるう秒を考慮した測定データ数となります。
今回のうるう秒は1秒挿入されますので、1秒多いデータ数となります。
- ・時刻校正結果は、うるう秒調整以降1秒ずれることとなります。
正時の時刻校正も、時刻校正終了タイミングがうるう秒調整後の場合は記録が1秒ずれます。
- ・うるう秒以降に始まる測定スケジュールでは、その開始時の時刻校正によって正常動作となります。

※LS-8200SD は、時刻誤差が 1msec 以上発生した場合には調整はせず、それ以降の時刻校正でずれた値を中心に調整を行います。
仕様上、うるう秒をまたいだ測定でのうるう秒補正は考慮していません。

[うるう秒調整後に動作させる場合]

うるう秒調整情報を持たない機器(うるう秒調整を知らない機器)が調整後に時刻同期を行った場合、時刻ズレ(1秒ズレ)が発生します。

調整後に動作させる場合の対策について

実稼働の前にアルマナックの取得を行ってください。

アルマナック取得コネクタ：CP800 を接続して約 25 分間動作させます。